

出掛けの唄

ハー ドンドナーエ ドンドドトエー (全員で唄う) 「ヤレヤレ」

雨戸にさわる 心ナ一惑わす (全員で唄う) 「エー南風ナーヨー」

サアー (長持の皆の)衆 ボツボツ出掛けましょナーエー

(ハ)で長ちを担ぐ

長持用唄

- (全員で) トコ、ドッコイ ドッコイ ドッコイなつと
- 桑の一 「ヨーホイ」 中から 小唄がもれるヨー
(全員で) トコ ドッコイ ドッコイ ドッコイなつと
- 小唄一 「ヨーホイ」 ききたや 「チヨイト」 頬みたいヨー
(全員で) トコ ドッコイ ドッコイ ドッコイなつと
- 竹に一 「ヨウコラ」 すずめは しなよく止まるヨー
トコ ドッコイ ドッコイ ドッコイなつと
- 止めて一 「ヨウコラ」とまらぬ 「サイシヨ」 色の鳥ヨー
トコ ドッコイ ドッコイ ドッコイなつと
- 来たら一 「ヨーホイ」 寄つとくれんけ あばらやだけれどヨー
ぬるいー 「ヨーホイ」 お茶でも 「チヨイト」 熱くするヨー
- 来ては一 「 ドンドと 雨戸をたたくヨー
心一 「 せかせる 「 南風ヨー
- 入れて一 「 おくれよ カゆくてならぬヨー
私一 「 一人が 「 カヤの外ヨー
- 遠く一 「 はなれて 切れたよに見せてヨー
細く一 「 つながる 「 風の糸ヨー
- お相撲にやー 「 負けても ケガさえなけりやヨー
今夜は一 「 私が 「 負けてやるヨー
- 尾根の一 「 松茸 何見て太るヨー
谷の一 「 白百合 」 見て太るヨー
- 今夜一 「 来るなら 裏からおいでヨー
表は一 「 車戸で 「 おとがするヨー
- 増富生まれで江草で育ち多麻多麻会つたが穂足りづれ
海はなくとも海岸寺今日はめでたい御柱祭 トコ ドッコイ ドッコイ
ドッコイなつと

○甲州街道で ミンミが 仲良く なんばか良いので 片足もちやげで
ミーンミン トコ ドッコイ ドッコイ ドッコイなつと

○一人ー 「 米つく あの水車ヨー

○米ぬかー 「 こぬかで 「 濃すぎる 浅黄じや淡いヨー

○紺じやー 「 紫「 さめやすいヨー

○今はー 「 梅干し 昔は花ヨー

○うぐいす 「 鳴かせた 「 時もあるヨー

○咲いたー 「 さくらに なぜ駒つなぐヨー

○駒がー 「 勇めば 「 花が散るヨー

○信州ー 「 信濃の 新そばよりもヨー

○私しやー 「 あなたの 「 そばがよいヨー

○またもー 「 惹れたよ 長持ち担ぐヨー

○うちのー 「 どうちゃんの 「 腰つきにヨー

○何をー 「 水のー 「 流れを 「 見て暮らすヨー

○娘ー 「 十七、八ちや させごろしごろヨー

○親もー 「 させたがる 「 針仕事ヨー

○富士はー 「 南に 北八ヶ岳ヨー

○町の一 「 守りの 「 諏訪の宮ヨー

○六年ー 「 一度の み柱祭ヨー

○犬やー 「 猫まで 「 綱を引くヨー

○住めばー 「 都の 若神子暮らしヨー

○み柱ー 「 祭で 「 栄ゆくヨー

○好いてー 「 好かれて キスまでさせてヨー

○後でー 「 捨てられる 「 卷たばこヨー

長持祝唄

○ハアー 今日はナーアアアアー 日もオオよオオオうしー

ハアー 天氣もーオ よいイしーイイイー

結びナーアアアー 会わせてヨー

ハアー 縁となるナーアアエー